


**STEP 2 答え合わせ** 5分

Track 04 をもう一度聞き、下線部を参照して答え合わせをしましょう。訳も参照してください。丸数字の箇所は [今月のルール] で解説します。

**Presenter:** I am a <sup>①</sup>proud parent with a disability. And I think from listening to the words we've <sup>②</sup>heard today, there are two messages that are really emerging as themes in addition with that flexibility we've all experienced, and that is this: that a parent with a disability is just that — a parent. And every single one of us are equally ill-equipped when we are <sup>③</sup>first confronting those incredible bundles of joy <sup>④</sup>that come into our life. ... And we share many, many of those same s—joys, the wonder, the concern and, yes, sometimes the frustration and challenges <sup>⑤</sup>that go along with parenting.

**訳 司会者:** 私は、体に障害のある、誇り高き親です。そして、私たちが今日聞いてきた言葉に耳を傾けると、私たち皆が経験したことのある柔軟性（の問題）に加えて、2つのメッセージがテーマとして浮かび上がってきます、そして、それはこういうことです。障害のある親とは、ただ単に——親なのだ。そして、私たちの人生に訪れるあの素晴らしい喜びの数々に初めて直面しているとき、私たちは誰もが皆、不十分な存在です。（中略）そして私たちは、子育てにまつわるあの同じ喜び、感動、心配事、そして、そう、時にはイライラや困難を、たくさん、たくさん共有しています。

**[今月のルール] 破裂音+破裂音**
**[応用編]**
**脱落してひと続きに聞こえる**

これは、5月に米ホワイトハウスで行われた、障害のある親の人権に関するフォーラムでの、司会者によるスピーチだ。

- ①では、proud parent の d が脱落。parent の -are- もあまりはっきりと発音されていないため、全体で「プラウ parent」のように聞こえる。
- ②も、heard today の d が脱落し、2語がひと続きに「ハートゥデイ」のように聞こえる。
- ③では、first confronting の t が脱落。
- ④と⑤は共に that の t が弱くなり、that come は「ダツカム」、that go は「ダツゴウ」のように聞こえる。小さい「ツ」の所に、t の痕跡が残っている。


**● EJ で聞こう!**

このコーナーで耳慣らしをした後、EJ の「Mystery Speakers」に挑戦し、余裕がある方は、ディクテーションをするのもよいでしょう。毎月、1つずつ音声現象を学んでいけば、「Tea Time Talk」も、徐々に聞き取りが易くなるはず。また、[今月のルール] がどこに現れるか、スクリプトに印を付け、自分でも発音してみましょう。

**● オンライン英会話を使ってみよう!**

基本編・応用編を全て学習し終えたら、「アルクオンライン英会話」（詳細は p. 082）で、[今月のルール] に沿って自分でも発音できるかどうか、応用編の英文を使って練習してみましょう。